

第1章 野生鳥獣被害の現状

1. 野生鳥獣による農作物被害の状況

全国における野生鳥獣による農作物の被害額は、おおむね横ばいから増加傾向で推移しており、令和6年度は188億円に上っています。

中国四国農政局管内（以下「中国四国管内」という。）では、令和5年度まで減少傾向で推移していましたが、令和6年度は一転して前年度比4億円増加の19億円となっています。

野生鳥獣による農作物被害は、営農意欲の減退や耕作放棄地の増加を招くなど、数値以上に農山村へ深刻な影響を及ぼしています。

獣種別に見ると、全国ではシカによる被害が42%と最も多い一方、中国四国管内ではイノシシによる被害が最も大きく、被害額全体の53%を占めています。

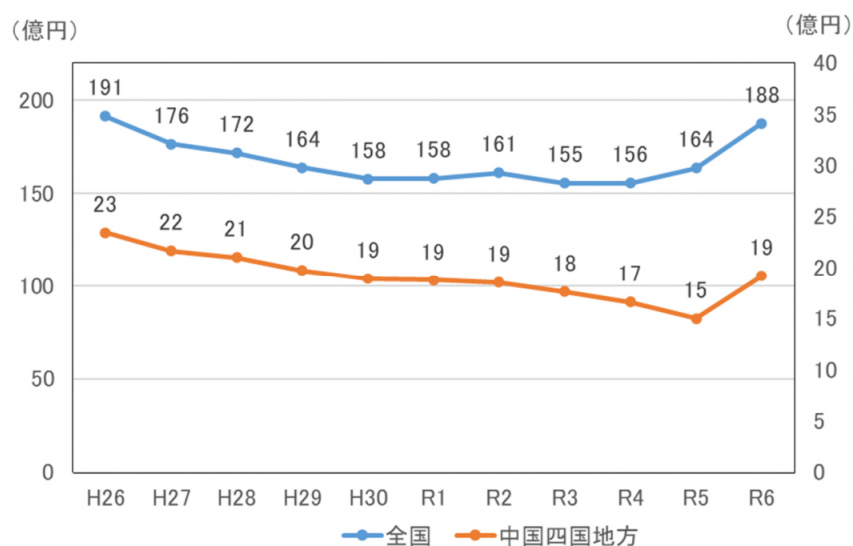


図1. 野生鳥獣による農作物の被害額の推移（全国、中国四国地方）

出典：農林水産省 HP「野生鳥獣による農作物被害状況」

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hogai_zyoukyou/index.html（掲載ページ URL）

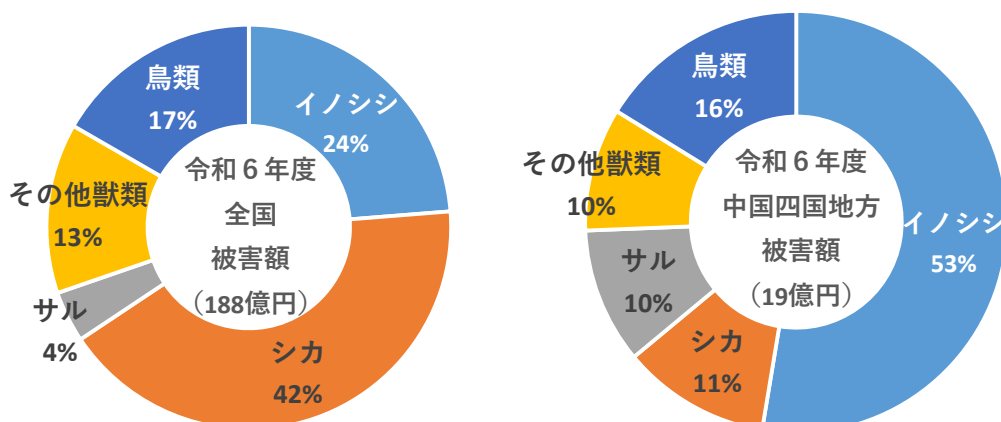


図2. 野生鳥獣による被害額割合（獣種別）（全国、中国四国地方）

出典：農林水産省 HP「野生鳥獣による農作物被害状況」

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hogai_zyoukyou/index.html（掲載ページ URL）